

1年の無火災を誓って
平成31年消防出初式

「平成31年松前町消防出初式」は1月13日、松前公園で行われ、消防団員などの消防関係者約400人をはじめ、地域住民が参加しました。

オープニングセレモニーでは、岡田中学校吹奏楽部の演奏、消防団岡田方面隊による腕用ポンプ操法の披露のほか、松前町少年消防クラブ員が防火標語を掲げて火災予防を呼び掛けるなど、式典に花を添えました。

式典では、消防団員が入場行進した後、功績のあった団員を表彰。代表して第4分団の加藤隆昌さんが「業務に精励し、社会福祉の増進と先輩各位の期待に応えたいです」とあいさつ。最後は一斉放水で締めくくりました。表彰者は次の通りです（敬称略）。



①団旗のもと、入場行進を行う ②松前町少年消防クラブ員による防火標語掲示 ③一斉放水を行う消防団員

▶知事表彰

- 第4分団 団員 加藤 隆昌
- 第7分団 班長 和田 欣也

(10年以上)

- 第1分団 団員 成田 輝彦
- 第2分団 班長 皿山 剛
- 第5分団 団員 林田 眞吾
- 第6分団 班長 池田 健一
- 第7分団 団員 川田 康
- 第9分団 班長 前田 憲昭
- <規律章>
- 本 団 団員 山崎はるみ
- <家族内助の功労者>
- 第5分団団員夫人 金子ユミコ

- 第2分団 団員 村井 貴将
- 第5分団 団員 山下 英治
- 第5分団 団員 池内 康彦
- 第6分団 団員 西岡 隆史
- 第6分団 団員 楠本 祐司
- 第7分団 団員 橋 正登
- 第8分団 団員 季羽 信雄
- 第9分団 団員 森田 茂寿
- <優良班表彰> (他の模範となる班)
- 第1分団 北黒田班 第3分団 筒井班
- 第5分団 鶴吉班 第6分団 横田班
- 第7分団 恵久美班 第9分団 塩屋班

▶愛媛県消防協会長表彰

- <竿頭綬>
- 松前町消防団
- <功績章>
- 第9分団 分団長 戒田 康宏
- <勤続章>
- (15年以上)
- 本 団 班長 池内真由美
- 第1分団 団員 日野 光保
- 第4分団 団員 中村 明博
- 第8分団 団員 重川 徹

▶町長表彰

- <個人表彰> (消防団員歴2年以上)
- 第1分団 団員 松岡 功憲

▶松前町纏会長感謝状

- 第8分団 西古泉班



* 旭日単光章【スポーツ振興功労】

本多 善造 さん ほんだ・ぜんぞう
元県アイスホッケー連盟会長 86歳 中川原

平成4年に伊予鉄道株式会社を退社後イヨテツスポーツセンター支配人に就任。スケートリンクを生かし国体出場を目指したスポーツとして、県内初の男子アイスホッケーチームを設立。県アイスホッケー連盟理事長、同会長を歴任し、子どもたちの育成に尽力しました。受章に対し、「思いがけない受章で大変恐縮しています」と話していました。



* 瑞宝単光章【警察功労】

亀岡 泰輔 さん かめおか・やすすけ
元県警部 72歳 中川原

昭和46年に愛媛県警に採用されて以降、一番町交番を皮切りに県内各地で勤務。長年担当した警備課では住民の安全確保に尽力したほか、皇族の警衛にも携わりました。当時皇太子妃だった美智子さまに労いの言葉をいただいたことが「身に余る光栄だった」といいます。受章に対し、「平成最後に天皇陛下にお会いすることができ、生きていた証になります」と感激していました。

叙勲で本町から3人が受章
秋の叙勲、危険業務従事者叙勲

政府が平成30年11月3日付けで発表した「平成30年秋の叙勲」で本多善造さんが、同じく10月13日付けで発表した「第31回危険業務従事者叙勲」で大政優さんと亀岡泰輔さんが、それぞれ受章しました。

受章者の主な経歴とコメントは次の通りです。



1_ 飯尾中予地方局長から伝達を受ける本多さん
2_ 岡本町長からお祝品の贈呈を受ける大政さん
3_ お祝品贈呈後の記念撮影。亀岡さん⑤と岡本町長⑥



* 瑞宝双光章【警察功労】

大政 優 さん おおまさ・まさる
元県警部 72歳 恵久美

昭和40年に愛媛県警に採用されて以降、松山市を中心に県内各地で勤務。長年務めた地域課ではパトカーに乗車しての機動警らを行うなど、昼夜を問わず地域の安全を守るために尽力しました。受章に対し、「警察官として当然の仕事長い間真面目に行ってきた結果だと思っています。ありがたいことです」と話していました。

県審査で2人が入選
明るい選挙啓発ポスターコンクール

明るく正しい選挙が行われることを呼び掛けるため、公益財団法人明るい選挙推進協会と各都道府県選挙管理委員会などが主催で、明るい選挙啓発ポスターを募集しました。愛媛県選挙管理委員会が行う地方審査の結果、入選した作品は次の通りです。



岡田中3年 篠崎莉子さん



北伊予小2年 玉井紗衣ちゃん



ようこそ、まさき町へ
まさき・まつまえ姉妹都市ふれあい交流事業

姉妹都市である北海道まつまえ町の児童9人が、ふれあい交流事業の一環として、12月26日から28日まで本町を訪れました。

夏にまつまえ町で交流を行っている児童たちは、ハイタッチをして5カ月ぶりの再会を喜んでいました。初日の夕食後は岡田小学校体育館で、名人に教わりながら紙飛行機づくりに挑戦。自分たちで折った紙飛行機の飛距離を競い、笑顔で交流を深めました。

2日目は、松山城見学の後、多くの児童が1番楽しみにしていたというホッケー体験を実施。青いピッチを広く使い、元気いっぱいにラリーなどを行いました。その後は、俳句づくり体験や砥部焼き絵付け体験を通して創作の楽しさを学び、夜はみんなで道後温泉を満喫しました。

最終日は、道後を散策し、坊っちゃん列車に乗った後、お別れとなる松山空港へ向かいました。3日間、松前町をはじめ、愛媛県の文化や食に触れ、かけがえのない体験をして友情を深めた児童たち。本年度の交流事業はこれで終了となりますが、1,500キロメートル離れた児童たちの交流は、これからも続いていきます。



1_表敬訪問。再会を喜ぶ 2_ 3_紙飛行機づくり。一番遠くに飛ばすのは誰だ 4_リフトに乗って朝の松山を楽しむ 5_ 6_楽しみにしていたホッケー体験 7_俳句づくり体験 8_個性を發揮した絵付け 9_道後温泉にも入ったよ



新春を祝って
「平成31年新春年賀のつどい」

「平成31年新春年賀のつどい」は1月4日、文化センターで開催され、300人以上が参加しました。

年頭のあいさつで岡本町長は、三段跳びに例えて進めてきた町政が4年目を迎えることに触れ、「今年はいよいよ『ジャンプ』の年。町のさらなる発展につながる総仕上げをしたい」と抱負を語りました。

この後、参加者はあいさつを交わして新年を祝い、親睦を深めていました。

人権の花と心を育てたよ
人権の花運動「花の贈呈式」

人権の花運動「花の贈呈式」は12月25日、松前幼稚園で行われました。

この運動は、園児が育てた花を施設などに届けることで、人権の輪を広げる取り組みです。今年も、松前幼稚園の園児が大切に花を育て、西公民館、町内の金融機関、商業施設の関係者などに手渡しました。園児たちに笑顔で手渡された皆さんは、「ありがとう」といっしょに人権だけでなく、笑顔の輪も広げていました。

㊤大事に育てた花を手渡す ㊦お花のポーズで記念写真



町消防団員2人が県知事表彰
自治体消防制度70周年記念・消防団活動推進大会

「自治体消防制度70周年記念・消防団活動推進大会」は12月16日、アイテムえひめで行われました。

この大会は、県民の安全・安心な生活を確保するという消防使命の重要性の再認識と、さらなる消防防災体制の充実を期するために行われ、松前町消防団から本団の足立智恵さんと第8分団の重松修平さんが愛媛県知事表彰を受けました。参加した皆さんは、防災意識を高めるとともに消防団活動への理解を深めていました。



伝統行事で地域の交流を深める
北黒田地区「どんど焼き」

北黒田地区の「どんど焼き」は1月19日、貴布祢神社で行われ、今年の無病息災と五穀豊穡を祈り、子どもから年配の人までたくさんの方が参加しました。

「どんど焼き」は、各家庭で正月に使ったしめ縄飾りやお札などを持ち寄り、まとめて燃やす伝統行事。役員や婦人会の皆さんが用意したお餅とぜんざいも振る舞われ、参加した皆さんは、「おいしいね」と会話をしながら互いに交流を深めていました。

㊤つくたてのお餅をどうぞ ㊦細い竹に刺したお餅を残り火で焼く

